

## 序 文

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協 AWSCJ）は、昭和 56 年に発足、昭和 60 年に社団法人化し、平成 30 年 4 月には公益社団法人となりました。

当協会の目的は「上下水道に係わるコンサルタントの資質向上と育成を図り、もって上下水道の発展と持続に貢献する」ことです。人材育成と上下水道を通じた社会貢献が当協会のミッションとなっています。

平成 27 年には新ビジョン「AWSCJ Vision 2015-2025」を策定し、そのコンセプトとして「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」を掲げました。上下水道という大事な水インフラを後世に健全な状態で引き継いでいくため、我々自らが主体的に関わっていくという、高い目標、使命を自らに課したものです。

令和 4 年に「第三期中期行動計画（2022-2024）」を作成・公表しました。第三期中期行動計画では、「水システムを通じて、地域・都市を豊かに」をパーパスすなわち我々水コンサルタントの存在価値として、10 の行動計画（Action）を示しています。

主要行動は、①業務領域の拡大、②地域・都市のサステナビリティへの貢献、③災害時対策の拡充、④脱炭素化への貢献、⑤DX化の推進、⑥官民連携の推進、⑦経営基盤強化、⑧働き方改革、⑨技術開発、⑩国際貢献です。

令和 6 年から上下水道事業は、水道行政の大部分が国土交通省へ移管されるのに伴い、水道、下水道の部門間を超えた連携によって水インフラの持続性向上、防災・減災計画の再構築、ウォーターPPPやDXの推進、さらには脱炭素化に向けた資源循環や農業分野への下水道資源利用の推進等が求められています。

総合的かつ戦略的な事業計画、DX、事業体支援が必要であり、コンサルタントの役割と責任は一段と大きくなっていると考えます。同時にコンサルタント自身の資質向上と育成が重要です。

当協会では、昭和 61 年度から毎年、会員による技術研究成果を技術・研修委員会を中心にとりまとめてきましたが、今回、令和 5 年度技術報告集（第 38 号）を発行する運びとなりました。今後も上下水道をとりまく諸課題への対応を着実に進めるため、資質向上と人材育成そして技術開発の促進を目的として、技術報告集及びその発表の場である技術研究発表会の充実に努めてまいります。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会  
会 長 間山 一典